

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（佐良山）小学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学A B・・・現状（県平均との差は大きく縮まった。割合の意味の理解と割合を応用しての立式、表やグラフなど複数の情報を総合して判断をする問題には課題がある。） 国語A B・・・現状（Bについては、県平均との差がある。特に、目的に応じて文章を読んだり、条件に合わせて文章を書いたりする問題への課題がある。）	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	「問題データベース」を活用し、課題のあった問題については各学年の学習内容と照合させて重点をおいて指導しながら、A問題を中心に朝学習や家庭学習で継続的に取り組む。	B	○問題データベースを活用し、各学年に応じたA問題への取り組みは継続しながら、高学年では、朝学習や補充学習時間に、活用問題にも取り組む。
①	算数レビュー週間（10月2月、5時間×2回の補充学習時間）を設定し、活用問題や復習を全校で計画的に行う。また、4年生以上の補充学習（佐良山タイム）でも、基礎と発展コースに分かれて、既習事項の習熟や発展問題に取り組む。	B	学力定着確かめテストの結果を考察して、課題となる問題は2月の算数レビュー週間の計画に取り入れていく。また、高学年を中心に、朝学習や補充学習時間に活用問題に取り組む。2月末に、類似問題テストを行う。
②	自主学習ノートの取り組みを進めながら、家庭学習時間（学年×10+10分）の定着に取り組む。年5回のノーメディア週間にあわせて家庭への働きかけと学習時間調査を行う。	B	自主学習ノートについては、月一回のNO.1表彰を続けながら、学習の仕方の提示と意欲の喚起に取り組む。7日間継続しての目標家庭学習時間の達成率は、7月53%、11月51%であった。土日の時間が短いので、さらに指導、家庭への働きかけをしていく。
③	児童の自己肯定感やよりよい人間関係を築くために、縦割り班活動を掃除や遊び、集会活動に取り入れ、落ち着いた学校生活・学習環境作りにつなげる。	A	プレハブ校舎という環境に移ったが、チャイム授業スタートやくつそろえ（ブロック共通目標）はかなりできており、ほぼ落ち着いた学習環境ができている。掃除が「よくできた、できた」という児童の割合は93%になっているので、さらに取り組みを進める。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			